

豊浦の心

~pride of Toyora~

壹 校歌を愛する心

豊高に入ってすぐに行われる校歌指導。男子は制帽、女子はキャップを右手に持ち空へと強く振り上げながら校歌を熱唱する。応援団からの厳しい指導を受け、大変過酷な行事だがこれを乗り越えると、豊浦の一員になったのだと改めて感じ、達成感から胸がいっぱいになる。校歌は野球応援や壮行会、その他様々な場で歌われ、カラオケにもあるほど愛されている。



貳 行事を思い切り楽しむ心

豊浦では豊浦でしかできない行事がたくさん！クラスマッチや豊高祭、英彦山登山、体育大会、強歩大会など男子・女子関係なく一致団結して楽しむ。最近行われた強歩大会では、毎年約30kmを歩き、クラスごとのタイムで競い合ったりもする。

豊高で盛り上がらない行事はない！

参 文武両道を貫き通す心

豊高生といえばやっぱりこれ！生徒のほとんどが部活動に加入し、毎日遅くまで練習に励んでいる。そして家に帰って勉強。豊浦でやっていくには部活動だけ頑張るのではダメなのだ。勉強と部活動の両立をきちんとできるのが真の豊高生である。



四 何事にも臆することなく挑戦する心

豊高では身体だけでなく精神もかなり鍛えられる。豊高の生活は厳しいため、自分でも気が付かないうちに心も強くなっている。だから豊高生は何か起きて動じず、乗り越えるべき壁があるときそれに向かって目標を立て、挑んでゆく。

豊高 boy、豊高 girl はカッコイイ！！

入学して半年以上がたった今、わたしが思うこと…。

『豊高に入って本当に良かった。』